

(鶴ヶ島市研修会)

進む高齢化時代 地域の支え合いシステムの構築

H30.12. 5(水)

宮前地区連合町内会(持田和夫会長)は年末、研修旅行に出ました。テーマは「高齢化時代、地域の支え合い」。埼玉県鶴ヶ島市立第二小学校校舎内にある「鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会」を訪問。幹部の方から映像をまじえ説明を聞きました。

『昔この辺一帯農業地帯でしたが高度経済成長期に住宅・商工業地へと変貌を遂げ昭和40年～50年代には新住民が急増しました。現在はその時期流入してきた世代の高齢化が進み人口も逆に減少傾向にあります。

このような中、地域防災、福祉支え合い、

子育て、助け合い隊等々地域の諸課題を行政にすべて頼るのでなく地域住民自らが主体的に取り組む新たな支え合いの仕組みが必要と考え10年ほど前から年月かけて築き上げて来ました。縦割りでは何もできないと分かったからです。協力団体は地域の八つの自治会、老人会、企業、スーパー、大学、医師会、薬剤師会、在宅訪問介護事業所、デイサービス、保育園、商店会、小・中学校、小中学校 PTA、シルバー人材センター、社会福祉協議会、市役所、市民センターなどで NPO 法人として運営しております』



* 校舎内の防災倉庫に鍵はなく緊急時、誰でも入れるよう配慮されていました。

私たちの地域に合う支え合いの仕組みを模索し進んでいくため参考になりました。